

第11号

2019.4.1-  
2020.3.31まじめに面白いを**創**る会社。未来の楽しいを**造**る会社。

# extreme times

株式会社エクストリーム | 2020年3月期 株主通信 証券コード:6033

トップインタビュー ▶ 代表取締役社長CEO **佐藤昌平**に聞く『ラングリッサー』の安定稼働による**三本柱の収益構造が強みに**。  
デジタルクリエイタープロダクションとしてさらなる発展を目指していきます

実績紹介 ▶ 株式会社タイトー様

強固な協力体制で、スピーディーな運営をサポート

[extreme NEWS DIGEST]

池袋西口公園にて**extremeイルミネーション**を実施

特集 ▶ 受託開発事業の体制を強化

エクストリームグループについて



## 『ラングリッサー』の安定稼働による 三本柱の収益構造が強みに。 デジタルクリエイタープロダクションとして さらなる発展を目指していきます

この度新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになった方々、ご遺族のみなさまには謹んで哀悼の意を表します。また罹患されたみなさまと、感染拡大により生活に影響を受けている地域のみなさまに、心よりお見舞いを申し上げます。

代表取締役社長 CEO **佐藤昌平**

### “ 当期 (2020年3月期) の 経営成績 ”

**期初計画を上回る増収増益を達成。  
創業以来、過去最高となる売上高、利益へと成長させることができました**

当社社員(クリエイター&エンジニア)が顧客先に常駐し、技術ソリューションを提供する「ソリューション事業」は、非常に旺盛な開発需要に支えられ、受注が安定的に伸長しました。

案件を持ち帰り形式にて請け負う「受託開発事業」は、保守開発案件が安定的に推移したほか、子会社のEPARKテクノロジーズが一定の収益貢献を果たしました。一方で、オフショア開発体制の確立に向け、6月にオルトプラス社と設立した合併会社エクストラポと、その100%子会社ALTPPLUS VIETNAM Co.,LTD.(2020年7月1日付でEXTREME VIETNAM Co.,LTD.へ社名変更)の立ち上げに伴う費用を計上したことで、利益面においてはマイナス成長となっています。

「コンテンツプロパティ事業」は、2018年8月の中国での配信を皮切りに、世界42地域へと配信地域を拡大しているスマートフォン版ゲーム『ラングリッサー』の収益が引き続き全体の売上・利益に大きく貢献しました。初速の爆発的な伸長フェーズから安定稼働のフェーズに移ってきてはいるものの、今後も一定の水準で持続的な収益を維持できるものと見込んでおります。

これらの結果、当期の売上高は前期比13.9%増、営業利益は前期比45.9%増と期初計画を上回る増収増益となりました。

### “ 2021年3月期の 見通し ”

**事業特性の異なる三本柱の事業構造で安定的な収益を確保**

2021年3月期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてのスタートとなりました。

ソリューション事業においては4月に入り需要供給ともに鈍化した側面もあり、楽観的には捉えられない状況ではありますが、感染終息後の立ち上がりに向けしっかりと準備を進めておくことが肝要だと思っています。一方で受託開発事業は、幸いにも開発期間が長い案件が多く、また既存サービスの運営を受託していることから、現時点では大きな影響は見られておりません。コンテンツプロパティ事業においても、世界的に在宅時間が長くなっていることからゲーム等への接触機会は増えているものと推測しています。しかしながら、現時点において当社業績に与える影響について合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の業績予想及び配当予想に関しては未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となりました段階で速やかに公表させていただきたいと考えております。

先行きは不透明な状況ではありますが、それぞれ特性の異なる3つの事業を強みに、安定的な収益を確保するとともに、開発力の向上や人材採用の面でもシナジー効果を発揮してまいります。

### “ 今後の成長戦略 ”

**デジタルクリエイタープロダクションとして  
さらなる成長のフェーズへ**

5年前の上場時は、顧客企業の約9割をスマートフォンアプリやゲームといったエンターテインメント系が占めていました。しかし現在では非エンターテインメント系であるIT・WEB系の企業が約半数を占めるようになってきました。これは、決してエンターテインメント系が低迷しているわけではなく、スマートフォンやデジタルサイネージ等の普及に伴い、非エンターテインメント系のニーズが急激な高まりを見せていることに起因します。加えて、テレワークのさらなる浸透や働き方改革などの影響も踏まえ、あらゆる業務のIT化が進むことで、当社が求められ、果たしていく役割はますます大きくなっていくものと考えます。

そうした状況下で、「デジタルクリエイタープロダクション」を標榜する当社は、「人材力」が価値創造や競争力の源であると考え、属するクリエイターやエンジニアが考えるもの・有する技術が十分に発揮できるような環境整備に取り組んでいます。スキルアップ教育や研修用機材、技術書や専門資料といったライブラリーの充実のほか、定期的な社員交流・技術交流などを通じ、気軽にアイデアを出し合える職場環境を整えることで、「人材力」の強化に努めています。

加えて、旺盛な引き合いが続く中で、今後も確実に受注を獲得していくためには、さらなる人材の獲得が肝となります。売り手市場が加速した当期の採用人数は、前期の7~8割に留まる結果となりましたが、足下では新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響から、求職者の動きに対する企業側の対応が停滞している状況もあり、当社における応募状況は非常に恵まれた状態にあります。これを好機として、当期を上回る100名規模の採用を目指すとともに、人材教育と営業戦略の掛け合わせで、さらなる成長を指向していきます。

また将来的には、本当に高いスキルを持つクリエイターやエンジニアがそれに見合った報酬を得ることができるよう、業界水準の底上げにも貢献していきたいと考えています。クリエイターやエンジニアの地位を確立・向上させることで、それぞれが遺憾なく能力を発揮し、活躍できるスキームの構築を模索していきます。

### “ 株主のみなさまへ ”

**期初計画を上回る好業績での着地を受け、期末配当は36円に増配。  
厳しい外部環境下でも確実に準備を進め、  
好位を活かしたさらなる発展を目指します**

当社は、2019年12月に上場5周年、2020年5月には創業15周年を迎えました。これもひとえに株主のみなさまからのご支援によるものと心より御礼申し上げます。

まだまだ若いベンチャー企業ではありますが、上場企業である以上、株主様への利益還元、社会貢献は非常に重要な視点であると意識しており、上場来、配当性向は20%を継続して実行しております。2020年3月期は『ラングリッサー』の収益が引き続き安定的に推移したことから、1株当たり期末配当を期首予想25円から11円増額の1株当たり36円とさせていただきます。

また、創業以来池袋に事業拠点を構える当社ならではの地域貢献の形として、イルミネーションイベント「池袋西口公園extremeイルミネーション2019」に特別協賛企業として参画しました。地域のみなさまをはじめ各所からご好評の声をいただき、「デジタルで地域に貢献する企業」としての存在感を示すことができたことと自負しています。

現在、ゲーム業界以外で当社のように高い視認性、ユーザビリティを実現する技術を持つ企業はまだ少なく、当社は非常に高い競争優位性を有したポジションにいると自負しています。足下の外部環境は不透明な状況にありますが、この逆境をチャンスと捉え、立ち上がりに向けた準備を着実に進めてまいります。

株主のみなさまには、さらなる成長にご期待いただくとともに、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特集

受託開発事業の体制を強化

エクストリームグループについて

現在エクストリームグループでは、開発要員を顧客企業に派遣するソリューション事業、顧客から開発業務を受託する受託開発事業、ゲームやライセンスサービスなどを手がけるコンテンツプロパティ事業の3事業を展開しています。「デジタルクリエイタープロダクション」として高い人材力を競争力の源泉に、受託開発事業における体制の拡充を図りながら、グループシナジーを活かした成長基盤の確立を目指しています。

extreme

株式会社  
EPARKペットライフ

持分法関連会社

100%子会社

シナジー効果による成長基盤の確立と  
企業価値の拡大を目指す

受託開発事業における安定的な収益の確立やグループ間における技術人材交流のほか、オフショア開発のロールモデルづくりにも取り組み、当社の成長基盤の確立と企業価値向上を目指していきます。

株式会社  
EPARKテクノロジーズ

大規模BtoCの  
基幹システムの開発

WebやIoT技術とAR/VR、AI（機械学習）など最新のデジタルテクノロジーを活用し、DX（デジタルトランスフォーメーション）サービスの企画立案、データの検証、PoC、開発、運用まで一貫通貫で提供

株式会社  
エクストラボ

ラボ型サービスの提供

受託開発事業におけるオフショア開発拠点として、品質の高い技術サービスを適切な価格で提供。また、クライアントの要望に応じ、柔軟な開発体制を構築する「ラボ型サービス」や現地進出のサポートを行う「インキュベーションラボサービス」を提供

100%子会社

EXTREME  
VIETNAM Co.,LTD.\*  
(ベトナム国ハノイ市)

オフショア開発

日本人技術者のほか、開発、安定運用の実績が豊富な現地技術者が150名弱、日本語対応可能なスタッフも在籍。高い日本語力と経験で顧客の企業文化・開発意図まで考慮し、最高の開発環境で高品質のサービスを提供

エクストリームグループでソリューションを提供

ビジネス

コンシューマー

クライアント

実績紹介

強固な協力体制で、スピーディーな運営をサポート

株式会社タイトー様

オンラインクレーン事業の  
サービスを総合的に支援

近年、市場が急成長を遂げている「オンラインクレーンゲーム」。景品をクレーンでキャッチして手元に落とすおなじみのゲームを、PCやスマホからオンラインで実際に遠隔操作し、景品が獲得できれば自宅まで配送してもらえる仕組みです。クレーンゲームをいつでもどこでも手軽に楽しめる一方で、提供側にはネットワーク環境構築にUIの制作、多数の筐体の管理と非常に大掛かりな事業が求められます。

2017年、株式会社タイトーがこのオンラインクレーン事業に乗り出しました。エクストリームは、同社のサービス開始当初から技術とUI面で総合的に支援し、株式会社タイトーの持つブランドにふさわしいサービスの実現に貢献しています。

今回はサービス責任者である株式会社タイトー マーチャンダイジング事業本部 オンラインビジネス部 副部長の西脇様と、エクストリーム テックファンド事業本部 部長の工藤にインタビューを行いました。

Q オンラインクレーンゲーム市場には様々な企業が参入していますが、御社のこだわりをお聞かせください。

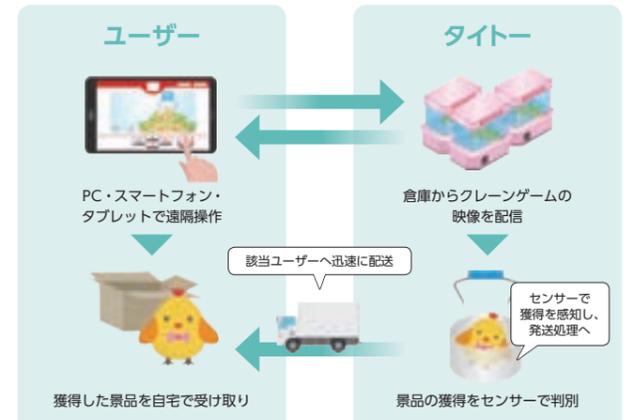
西脇: 実際にゲームセンターでクレーンゲームを動かしているかのような体験を提供するためには、快適な操作性、高品質な映像環境が必要不可欠となります。また映像以外の部分においても、『獲得確認』といった機能を備え、センサーの不具合等が生じた場合に映像での確認を可能にするなど、対面で接客することができない分、柔軟なサービス体制を敷くように心がけています。

Q 高品質なサービスを効率的に運営するための工夫を教えてください。

西脇: スタッフのスキルアップはもちろんですが、工藤さんを窓口にして、エクストリームと相談を重ねながら作り上げた管理システムが大きなウエイトを占めています。また、日々見つかる様々な改善点についてもエクストリームにシステム面から解決していただいています。

工藤: 管理システムが効率的になれば、最適な人員体制でサービスレベルをより向上させることができると考えています。直接お客様に見える部分ではありませんが、注力しているポイントです。

タイトーオンラインクレーンの概要



運営をサポートするエクストリームのソリューション

- ▶ ゲーム関連の実績を活用し、操作性の高いUIを開発
- ▶ 遠隔でのクレーンゲーム操作をタイムラグなしでなめらかに実現
- ▶ ユーザーの不満を解決するサービス実装を、システム面からサポート
- ▶ ユーザーや管理スタッフの声を反映してシステムをブラッシュアップし、サービス品質向上・業務効率化を推進

Q エクストリームの印象はいかがですか。

西脇: 『仕事を発注する我々』と同じ目線を持っていただけるクリエイター集団だと感じています。技術的な課題解決のクオリティはもちろん、プロジェクト全体を考慮した提案をいただけるので、非常に助かっています。

工藤: 私たちの事業部は、技術を提供し、お客様と一緒に成長していくことが目的の部署です。KPIとしても、我々の売り上げだけでなく、お客様のビジネスがどれだけ成長したかを指標に加えています。

Q サービスの今後の展望とエクストリームに期待する部分を教えてください。

西脇: 本サービスは、まだまだ成長するポテンシャルを秘めています。そのため、事業規模の拡大・サービスの拡充が求められます。エクストリームには『一緒に事業を成長させてくれるパートナー』として、引き続き並走していただければ幸いです。

工藤: 私共としても、現在のシステムが100%完璧だとは思っていません。今後もより良いサービスを実現できるよう、改善を重ねていきます。



株式会社タイトー様について

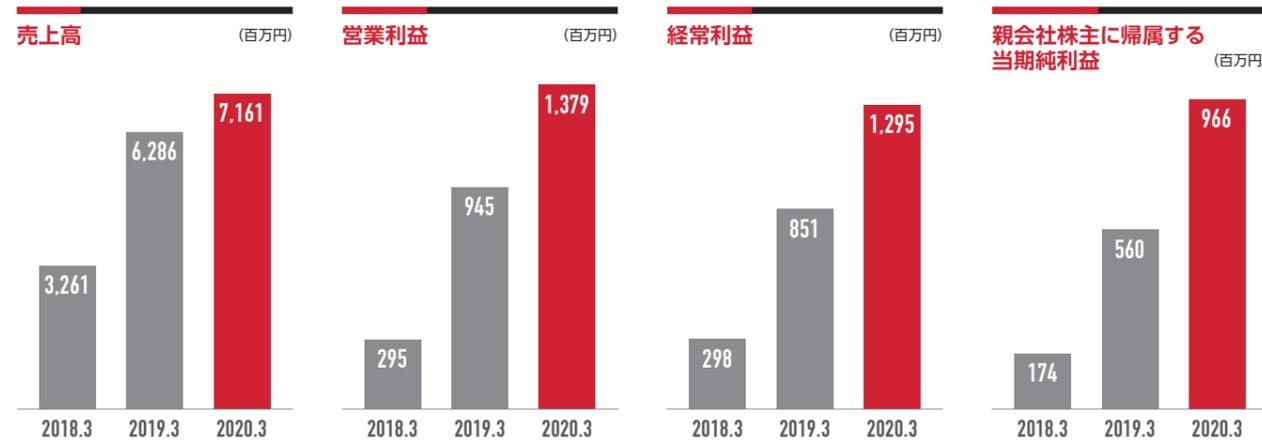
1953年設立。時代に先駆けたクレーンゲーム機の開発や、業界黎明期から続くアミューズメント施設の運営、社会現象を巻き起こした「スペースインベーダー」など、斬新なアミューズメントを提供。現在も、全国に広がるアミューズメント施設「タイトーステーション」の運営や、アーケードゲーム、家庭用ゲーム、スマートフォン向けコンテンツ、キャラクターグッズの企画・開発など幅広い事業を展開し、その連携により新たなアミューズメントやサービスを創造している。

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

主要経営指標	(百万円)	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3
売上高		3,289	3,261	6,286	7,161
営業利益		436	295	945	1,379
経常利益		433	298	851	1,295
親会社株主に帰属する当期純利益		278	174	560	966
1株当たり当期純利益	(円)	56.51	34.59	104.48	177.69
純資産		1,136	1,257	2,254	3,085
総資産		2,062	2,099	3,677	4,489
1株当たり純資産	(円)	225.17	246.91	367.17	517.00
自己資本比率	(%)	55.1	59.9	54.2	62.8
自己資本当期純利益率 (ROE)	(%)	24.5	14.6	34.5	40.2
総資産経常利益率 (ROA)	(%)	21.0	14.3	29.5	31.7

※ 当社は、2018年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期以前の数値については、当該株式分割の影響を考慮しております。



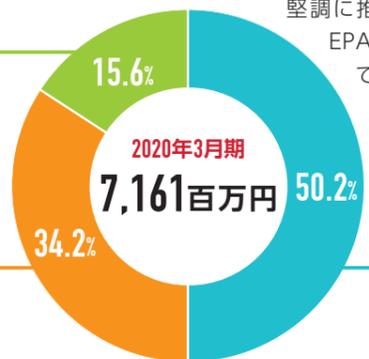
セグメント別概況

コンテンツプロパティ事業

売上高 1,252百万円  
セグメント利益 1,166百万円

受託開発事業

売上高 2,447百万円  
セグメント利益 15百万円



ソリューション事業

売上高 3,593百万円  
セグメント利益 833百万円

ソリューション事業においては、開発案件における需要が堅調に推移。受託開発事業では、既存(保守開発)とEPARKテクノロジーズの収益が業績に貢献した一方で、エクストララボ及びALTPLUS VIETNAM Co.,LTD.において損失を計上しました。コンテンツプロパティ事業においては、『ラングリッサー』のヒットが継続し収益が発生しました。

※ 表示単位未満の端数は切り捨てて表記しております。

会社概要 / 株式情報 / 配当方針 / IRカレンダー / 株主メモ (2020年3月31日現在)

会社概要

社名	株式会社エクストリーム EXTREME CO.,LTD.	
設立	2005年5月6日	
本社所在地	〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1 メトロポリタンプラザビル 21F	
名古屋オフィス所在地	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-1-30 錦マルエムビル 2F	
資本金	415,911,524円	
従業員数	連結:592名 単体:392名 ※契約社員・アルバイト等含む	
役員	代表取締役社長 CEO	佐藤 昌平
(2020年6月24日現在)	取締役 管理本部長	由佐 秀一郎
	取締役 (社外)	山口 十思雄
	常勤監査役	佐藤 泉
	監査役 (社外)	西田 弥代
	監査役 (社外)	楠元 克成

株式情報

株式状況	発行可能株式総数	14,288,000株
	発行済株式総数	5,455,176株
	株主数	3,944名

大株主

株主名	持株数	持株比率
佐藤昌平	2,472,800株	45.33%
株式会社EPARK	297,176株	5.44%
PHILLIP SECURITIESCLIENTS (RETAIL)	250,400株	4.59%
長岡裕二	111,600株	2.04%
由佐秀一郎	60,400株	1.10%
梯悦子	51,700株	0.94%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)	32,600株	0.59%
山下良久	31,100株	0.57%
佐藤朋美	24,000株	0.44%
佐藤京平	24,000株	0.44%
佐藤佳子	24,000株	0.44%

※ 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

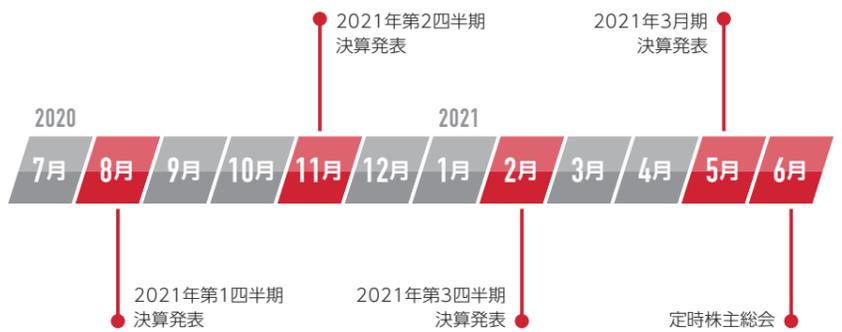


配当方針

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を重要な経営課題と認識するとともに、将来の事業展開と経営体質強化のために、内部留保を確保しつつ、財政状態及び業績動向等、経営状態を総合的に判断して利益配当を行っていく方針であります。具体的には、年1回の期末配当とし、親会社株主に帰属する当期純利益の20%を配当性向の目安として、業績に応じた配当を実施してまいります。2020年3月期の配当につきましては、上記の方針に基づき、1株につき36円とさせていただきます。

配当性向 20%を目途

IRカレンダー



株主メモ

上場市場	東京証券取引所マザーズ
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度の末日翌日から3ヶ月以内
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日及び毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)

事務取扱場所	東京証券代行株式会社 本店 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)
郵便物送付先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	0120-49-7009 (フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告 公告掲載URL: <a href="https://www.e-extreme.co.jp/ir/notice.html">https://www.e-extreme.co.jp/ir/notice.html</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

# extreme NEWS DIGEST

## 池袋西口公園にてextremeイルミネーションを実施 「池袋デジタル寺子屋2019」と連動した 「こどもAR展覧会」も同時開催しました

2019年秋にリニューアルし、池袋の新たな名所として誕生した「GLOBALRING(グローバルリング)」初のイルミネーションイベント「池袋西口公園extremeイルミネーション2019」に特別協賛企業として参画しました。豊島区主催の「池袋ナイトライブイベント」と合同で行われた点灯式や、当社が主催する子ども向けワークショップ『池袋デジタル寺子屋2019』での子どもたちの作品を発表する『こどもAR展覧会』の開催など、行政・住民・メディアの各所を巻き込む盛り上がりの中、開催期間も2週間延長され大好評のうちに幕を下ろしました。



### 地域貢献×企業活動のシナジー効果を目指して

池袋は、エクストリームが創業来より事業拠点を構えてきた地であり、近年では、国際アート・カルチャー都市を目指して変容を遂げつつあります。当イベントへの参画は、池袋の変遷とともに成長を遂げてきたエクストリームならではの地域貢献の形であり、「官民連携」による地域社会の発展への新たな一歩となりました。今後も、デジタルテクノロジーやエンターテインメント分野のノウハウを提供することで活気あるまちづくりをサポートし、地域貢献と企業活動のシナジーを生み出す取り組みにチャレンジし続けていきます。

## 『豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業』に再認定されました

2018年の初認定から2年間の認定期間の後、改めて『豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業』に再認定されました。IT業界では難しいとされる、社員が家庭と仕事を両立できる仕組みづくりを目指し、労働時間の削減や、育児・介護休暇の取得支援、女性が働きやすい環境の構築に重点をおいた取り組みを進めてい

ます。その結果、男性の育児休暇の取得実績向上や産休・育休取得後の復職率100%を実現しております。今後も引き続き、働きやすい環境の整備を通じて、社員の中長期的なキャリア形成の支援を行っていきます。



▲当社代表取締役社長CEO 佐藤昌平と豊島区長 高野之夫氏

## 一般社団法人 日本経済団体連合会に 入会しました

2019年12月26日付で経団連へ入会しました。「ESG(Environment/環境・Society/社会・Governance/ガバナンス)」の取り組みや「SDGs(持続可能な開発目標)」など、企業が社会問題と向き合う姿勢が注目される中、当社もより一層の社会的責任が求められる立場として、こうしたテーマに積極的に取り組んでまいります。

# Keidanren

Policy & Action



この冊子は環境保全のため、  
植物油インキとFSC®認証紙  
を使用しています。



ユニバーサルデザイン (UD)の  
考えに基づいた見やすいデザイン  
の文字を採用しています。